

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP-S4-18
研究課題名	日本人原爆被爆者における結腸がんに対する放射線リスクのメカニスティックモデリング
研究責任者（所属）	カイザー・クリスチャン（ドイツ環境健康研究センター ヘルムホルツセンター・ミュンヘン 放射線防護研究所（HMGU））
放影研での研究責任者	三角宗近
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的： 放影研と HMGU で研究協力を行い、結腸の発がんのための生物学に基づくリスクモデルからリスク推定値を導き出すことで、原爆被爆者コホートのがん罹患率データから放射線と発がんの生物学的なメカニズムを探る分析を行うことを目的としています。</p> <p>利用方法： 現在放影研で行っている、結腸がん罹患率解析のデータ（追跡期間：1958-2009年）を HMGU と共有し、HMGU で開発されたモデルによって結腸がんのリスクを解析します。</p>
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：HMGU） <input type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>寿命調査集団の結腸がん罹患のデータ（1958-2009）： 性別、都市、被爆時に対象者が市内にいたか否か、被爆時年齢、追跡開始時年齢、結腸被曝線量推定値、追跡終了時年齢、結腸がんの罹患情報（部位（近位、横行、遠位結腸）、組織型、診断日、資料源）が含まれます。 対象者の匿名性を保つために結腸被曝線量推定値の概数を用い*、生年月日、がん診断日、死亡年月日は年月までとしています。</p> <p>HMGU へは性別、都市、および年齢の変数や被曝線量をカテゴリにした変数で交差表として集計値にしたデータを提供します。個人レベルのデータを提供することはありません。</p> <p>*科学的な正確度を損なわない範囲で対象者の匿名性を保つ方法を用いています。</p>

<p>利用する者の範囲</p>	<p>HMGU</p> <p>カイザー・クリスチャン シモネット・クリストフォロ カステレッティ・ノエミ</p> <p>久留米大学バイオ統計センター 古川恭治</p> <p>放射線影響研究所 三角宗近 杉山裕美 伊藤玲子</p>
<p>試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>三角宗近（放射線影響研究所）</p>
<p>統括個人情報保護管理者</p>	<p>放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>【研究担当者】 氏名：三角宗近 公益財団法人 放射線影響研究所 統計部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>